

# 東アジア学会活動記録

【1993年】

◆ 第12回研究会（定例研究会）

日時：1993年1月30日

場所：（財）国際東アジア研究センター・セミナールーム

報告：「ロシア極東の困難と展望—環日本海地域における経済交流の可能性」

E.B.コブリギン（西南学院大学教授）

◆ 第3回日韓合同研究会

日時：1993年2月19日～20日

場所：コモドホテル会議場2F（韓国釜山）

《東北アジア経済圏の新しい流れと協力課題》

報告1. 「中国の“二つの加速化”と東北アジア経済協力」

金 鳳徳（北九州大学産業社会研究所客員助教授・東北財経大学経済研究所副教授）

報告2. 「東北アジア経済圏の可能性と課題—朝鮮の動きを中心に」

小川 雄平（西南学院大学商学部教授）

兪 和（（財）国際東アジア研究センター専任研究員）

報告3. 「東アジア経済協力構想と展望」

金 守一（釜山外国語大学教授）

報告4. 「環黄海経済圏と中枢都市」

工藤 憲男（経営教育センター所長）

報告5. 「日中韓経済交流の展望」

杜 進（（財）国際東アジア研究センター主任研究員）

報告6. 「東北アジア経済圏形成と釜山の役割」

朴 仁鎬（釜山発展システム研究所研究委員）

◆ 第13回研究会（定例研究会）

日時：1993年4月17日

場所：西南学院大学

報告：「内陸視点からみた華南経済—広東省を視察して」

上野 登（九州共立大学教授）

◆ 第14回研究会（定例研究会）

日時：1993年6月19日

場所：（財）国際東アジア研究センター・セミナールーム

報告：「韓国の東アジア外交の現状と展望—中国、北朝鮮を中心にして—」

金 龍瑞（九州大学法学部客員教授・韓国梨花女子大学校行政学科教授）

◆ 東アジア学会第3回記念大会

日時：1993年7月31日

場所：久留米大学

国際シンポジウム《東アジアにおける地域経済圏の諸相》

パネリスト

李 甲銖 (韓国 釜山大学)  
李 太雨 (韓国 韓国海洋大学)  
陳 建平 (中国 山東大学)  
恩田 久雄 (日本 敦賀女子短期大学)  
木下 悦二 (日本 久留米大学)

自由論題研究報告

分科会 (1)

座長 櫻井 浩 (久留米大学商学部)

1. 「韓国農村の家族問題」  
篠崎 正美 (アジア女性交流・研究フォーラム)
2. 「東北アジア局地経済協力と豆満江经济圈構想」  
朴 桂應 (韓国圓光大学アジア経済研究所)

分科会 (2)

座長 利光 正文 (別府大学文学部)

1. 「東南アジアの民主化について—ミャンマーを中心に—」  
伊藤 憲治 (北九州大学法学部)
2. 「東北アジアの開発政治—シンガポールを中心に—」  
田村 慶子 (下関市立大学経済学部)

分科会 (3)

座長 石上 悦朗 (福岡大学商学部)・駄田井 正 (久留米大学商学部)

1. 「経済開発における市場メカニズムと政策介入—新古典派開発論とその問題点」  
山本 一哉 (九州大学大学院)
2. 「19世紀末の米国内国為替制度」  
川合 研 (福岡大学商学部)

◆ 第15回研究会 (定例研究会) —民族統一研究院 (韓国) 東アジア学会合同研究会

日時: 1993年10月30日

場所: (財) 国際東アジア研究センター・セミナールーム

「社会主義圏の改革と北韓体制の変化との比較」

開会挨拶: 木下悦二 (東アジア学会会長・久留米大学教授)

特別講演: 「社会主義圏の崩壊と南北韓関係」

李 秉龍 (民族統一研究院院長)

座長: 林 一信 (九州国際大学教授)

午前の部

報告1. 「社会主義圏の改革と北韓体制の変化との比較」

徐 載鎮 (民族統一研究院北韓研究室長)

2. 「北韓の伝統文化と改革・開放との関係」

李 宇榮 (北韓研究室責任研究員)

3. 「北韓の改革・開放の現況と展望」

金 聖哲 (北韓研究室責任研究員)

午後の部

報告1. 「朝鮮の社会・政治状況を見聞して」

前田 康博 (北九州大学教授)

2. 「朝鮮経済と豆満江開発」

小川 雄平 (西南学院大学教授)

討論 菅 英輝 (北九州大学教授)

森 善宣 (久留米大学講師)

永守 良孝 (毎日新聞山口支局長)

櫻井 浩 (久留米大学教授)